



令和7年4月30日

学校だより

第2号

東京都立田園調布特別支援学校

大田区田園調布 5-43-6

電話 3721-6861

URL: <https://denenchofu-sh.metro.ed.jp/>



挨拶や言葉遣いの大切さ

副校長 鈴木泉水

新年度が始まり早くも1カ月が経とうとしています。1年生は少しずつ学校生活にも慣れ、校内の教室を見て「この部屋は何をすること?」「この授業は何をするの?」等、様々なことを発見しています。早く学校生活に慣れ、楽しく学校生活を送れることを願っています。また、2・3年生は新しい学年になり、生徒たちはやる気に満ちあふれているようで、とても頼もしく感じています。入学・進級した生徒たちは、新しい友達、新しい学級、学校生活に慣れてくると、学習や進路への難しさや友達との関係性に悩むこともあると思います。教育活動をとおして「分かる」「できる」等の学ぶ楽しさ、自分や友達は大切な存在であることを実感でき、学校が居心地のよい安心できる場所になってほしいと考えています。

さて、本校では教職員が指導の中で、挨拶や言葉遣いを大切にしています。卒業後、社会生活を送る中で、コミュニケーションは欠かすことはできないと考えます。誰しも温かみのある言葉によって励まされ、勇気づけられたり、その反対に冷たい言葉を浴びせられ落ち込み、自信をなくしてしまったり、こうした経験が少なからずあるかと思います。私自身、第一印象の中でも挨拶や言葉遣いは、その後の付き合いに大きく影響する大切なものだと思います。言葉は、自分の気持ちを伝えるとともに、相手のことをより深く理解でき、人と人をつなぐものです。挨拶や言葉遣いは長い時間をかけて、家庭生活、学校生活及び社会生活の中で、人との関わりの中で培われていくものです。

生徒たちから相手の気持ちに寄り添った「励ます言葉」「寄り添う言葉」「優しい言葉」がたくさん聞こえ、生徒一人一人が「自分は大切にされている・必要とされている」、その一言で一步踏み出す勇気が湧いてくる…。そんな一言がたくさん聞こえてくる学校にしていきたいと思っています。教職員一同、生徒たちのもつ力を十分引き出せるよう指導していきます。ぜひ家庭の中でもお子様らしい表現の方法を見付け、後押しをしていただきますよう、よろしくお願いいたします。

